

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語科／論理国語】

1. 対象 3年

全員が四年制大学への進学を希望しており、授業中の話し合い活動にも積極的に参加できる学習意欲の高い集団である。しかしながら、論理的な文章の読解には不安を抱える生徒が多く、読み取った内容を表現することに苦手意識を持つ者が多い。

この単元では、論理的な文章における意味段落ごとの内容を端的にまとめる活動を通して、本文全体を要約する能力を育成する。

2. 単元名「文章の内容や構成を的確に捉え、文章を要約する」（全7時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〔知識及び技能〕(1)イ
思考力、判断力、表現力等	文章の種類を踏まえて、内容を的確に捉えることができる。 〔思考力・表現力・判断力等〕「読むこと」(1)ア
学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

4. 本時の目標

各自の書いた要約文について、必要な要素が書けているかグループで検討し、修正する。

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

本文の要旨を200字以内でまとめよう。

考えるための材料

- 1 意味段落ごとの設問への解答（前時までには書いた解答）
- 2 クラスメイトの解答
- 3 クラスメイトからのコメント

想定される活動

- 1 論理的な文章における、要旨のまとめ方を考える。
- 2 Cラーニングの協働板機能を使って解答を共有し、コメントを書き合う。
- 3 貰ったコメントを参考に、自身の解答を修正する。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- 1 グループ内で要約文を読み合い、足りない内容や本文と違う内容等をコメントし合う。例)「○○」という内容があるといいです、「××」という言い方は本文ではされていなかった 等
- 2 貰ったコメントに対し、自身の意図や質問などを返信する。例) 書こうと思ったけど文字数が足りなかった、「●●」という書き方だとどうでしょうか? 等

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

リスク社会とは、選択に伴う不確実な損害であるリスクの可能性に満ちた社会であり、人間の選択の産物としての社会規範が監視と修正を受けるようになった近代以降に出現する。リスクに対処するためには極端な選択が必要であるため、多数派の支持する中間的な意見を採用する民主主義の原則は成り立たなくなる上に、リスクに対する専門家らの見解は一つの結論には至らないため、倫理的・政治的決定との間の断絶が露呈してしまう。(198字)